

## この頃出合ったいい風景

彼岸花の艶やかな赤色が少し色あせてきたある日、親不孝者の私が久しぶりに母親の墓参りに出かけることにした。雑草が茂っているのではと想いながら、朝日屋酒店の信号を左折し、上車橋を過ぎた時、自転車にごみ袋を乗せて、歩道脇の草を刈っている70歳前後の男性を見かけた。思わず車を止め、少し話を聞いてみた。草刈りを始めたきっかけは、ワクチン接種に飯山総合運動公園に行った時、歩道の草が茂っていることが気になり、8月に入ってから暇にまかせて草刈りを始めたと、ぼそぼそと話してくれた。

コロナ禍の中で、自粛生活が長く続き、重苦しい日々を悶もんと過ごす現況の中、人知れず黙々と草を刈るその姿に感激し、私は一点の曇りもない清々しい青空を見た気持ちになった。この気持ちを皆さんにお裾分けしたいとの思いで筆を執った。

なお、草刈りは現在、飯山中学校前の北に延びる道を終えて、10月に入った土曜日の18時過ぎに、第一保育所前の小さな空き地で見かけた。薄暗い中、黙々と草を刈っていた姿に、運転中であつたが思わず頭を下げずにはいられなかった。

最後に、母親の墓は皆さんの想像通り、雑草が元気に茂っていましたが、抜く手はなぜか軽やかだった。

T.S



## ちょっといい話



今年も見事に咲きました。ありがとう！

## 10月2日3日(土・日) 自治会長会を開催

コロナ禍による人数制限のため、2日間かけて分散開催しました。

今回の主な議題は、例年実施されています「共同募金」の活動依頼を本年度も行いました。

募金活動に皆さまのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 飯北コミュニティセンター建設検討委員会報告

2019年7月3日に飯山北コミュニティセンター建設検討委員会を立ち上げて、今日まで市長に建設に向けての要請書を提出するなど諸活動を展開してきました。

現在のコミュニティセンターは、1976年に老人・母子福祉の向上を目的に、飯山総合福祉センターとして建設され、その時は共同浴場、調理場も完備されていました。その後、現在の飯山総合保健福祉センター新築移転に伴って、一部改修して教育委員会の所管施設となった後、合併協議により飯山北コミュニティセンターとして、今日まで地域の皆さまの身近な活動拠点となり、その存在を高めてまいりました。

しかし、建物は老朽化が進み耐震基準を満たしていません。また、住民から要望の高い調理場も未設置のため、緊急避難所としての機能が十分に発揮できるか危惧されることから、建て替えに向けて進めていく事を確認し、前号(8月25日発行61号)で、コミュニティセンター建て替えに伴う、「地域の皆さんの意見募集」を行いました。集計結果は、240人から意見が集まりました。特徴的な意見は、

- ①避難所として機能充実
- ②全世代が気軽に利用できる場所
- ③飲食・休憩場所(イートインスペース)の設置

など、多くの意見が寄せられました。これらを参考に、建設に向け青写真を作っていきます。